

# カメラスケッチ



## 里山を考える機会に…森林文化調査報告会

3月7日、私たちにとって身近な自然であり、新津の宝でもある「里山」の保全と利用を考えようと、「にいつ丘陵森林文化調査報告会」が開催されました。報告会では、新津市文化振興財団から依頼された専門家らが里山の動植物や昆虫などに関する調査結果を報告し、にいつ丘陵の里山の魅力や、その個性に合った保全の方法など提言をしました。

## 新津市美術館「文化サロン」が最終回

3月6日、文学と音楽・芸術を気軽に楽しんでもらおうと、昨年9月から全7回にわたって開催された「若月忠信の文化サロン」が最終回を迎えました。この日は、作家坂口安吾氏の長男で「安吾と三千年と四十の豚児」の著者・坂口綱男さんをゲストに講義が行われたほか、アトリウムでは諸橋一二美さんらによるタップダンスが披露され、参加者を楽しませていました。

講義を行った坂口綱男さん(左)と若月忠信さん(右) ▶



## お待たせしました！新町大橋開通式 車の双方向乗り入れがスタート

3月6日、改修工事に伴って一方通行規制となっていた新町大橋の大部分が完成し、双方向への車両乗り入れ開始を祝う開通式が行われました。当日は、式典用の大段幕が取り外されるほどの強風でしたが、大勢の観衆が集まり、テープカットや渡り初め、新津小唄の披露など盛りだくさんのイベントが行われました。

強風にもかかわらず、栄町かぐらが友情出演で元気に渡り初めを行った。

## 消防本部に新しい助っ人が登場！ 消防ポンプ車が寄贈されました。

2月26日、新津市消防本部で(社)日本損害保険協会から寄贈された「標準型消防ポンプ自動車」の受納式が行われました。毎分2,750リットル以上の放水が可能な心強いポンプ車ですが、この新しい助っ人が市内で大活躍することのないよう、火事には十分注意したいですね。



緑の風薫り 笑顔ゆきかう ふれあい文化都市

# にいつ 新津

新津市第3次総合開発計画：平成7～16年度

- 水と緑のまち
- 快適で安らぎが漂うまち
- 人が輝き活力のみなぎるまち
- にぎわいと交流のまち
- 明るく元気なまち
- 健やかで優しさが響きあうまち
- 豊かな人間味と文化の薫るまち
- 個性豊かな文化のまち



「この仕事を選んだ理由は？」  
物心がついた時から家に動物がいて、身近に動物がいるのが当たり前という環境でした。世話をするのも大好きだったし、飼っている動物との別れを経験して、「私にも何かしてあげられないかな」と思ったことが、この仕事を選んだきっかけですね。

「最近、ペットも「家族の一員」として大切にされていますね。」  
「子ども」や「人生の伴りよ」としての役割も持っている動物たちが多いので、健康に気遣って、少なくとも年一回は健康検査を受けさせに来られる飼い主さんも多いです。

「診察だけではなく、一緒に快適に暮らすためのしつけの指導や、大切なペットを亡くした飼い主さんの心のケアも大切な仕事になっています。」  
「ペットの健康管理に、どんなことに気を付けたらいいでしょうか？」  
鼻の乾きや目やになど、見た目の変化に神経質になるよりは、病気にさせない健康管理をされる方がいいですね。種類や性質、大きさなどから、そのコに合った食事や予防注射、衛生管理の仕方があるので、気軽に聞いてもらえたらと思います。

「自分を動物に例えるって…？」  
お人好しなところがあるので、犬かな。笑。自宅では、けんという名前の雑種の犬を飼っています。もう十二歳で、「おじいさん」になりつつあるのですが、長生きしてもらいたいんです。

「仕事以外の時間に、何をするのが好きですか？」  
車の運転が好きなので、ドライブに行ったり、出かけるのが好きですね。近いところでは、県立植物園が好きです。

「仕事の中で心掛けている事は？」  
人間の病院と同じく、飼い主さんや動物の不安な気持ちを受け止めてあげられるように、笑顔で心掛けています。

「病気が治った時の飼い主さんの笑顔や、ペットの元気な顔をたくさん見られるように、これからも頑張りたいです。」

## 自治宝くじ助成金を受け、 金津地区に「子ども御輿」が復活！



2月19日、金津自治会が自治宝くじの助成金である「コミュニティ助成事業」\*の助成を受けて整備した、「子ども御輿」一式が保管場所である金津公会堂に納められました。今年度のコミュニティ助成事業に応募した金津自治会の小野沢正一さんらは、美しい子ども御輿を囲みながら、「平成10年に不審火によって焼失してからは、祭りがすっかり寂しくなっていました。祭りに参加する子どもたちや、御輿が町内を通るのを毎年楽しみにしていたお年寄りが喜んでくれるだろう」と、来るべき今年の秋祭りに思いをはせていました。



「地域の祭りがまた賑やかにできる」と地域に温かく迎えられた子ども御輿  
◀御輿にも付けられている、自治宝くじのコミュニティマーク

\*コミュニティ助成事業では、(財)自治総合センターが自治宝くじの普及・広報を行うとともに、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に助成を行っています。

新津の「今」を伝えます

新津市内の各世帯に配布されている『広報にいつ』では、この欄に市内業者などの広告を掲載していますが、インターネット版『広報にいつ(PDFファイル)』では市からのお知らせなどを載せています。